

築地市場移転に内部告発

豊洲新市場の新土壌は未検査だ!

スクープ



豊洲新市場建設現場

豊洲市場移転に賛成したとされた東京都が、豊洲市場移転断固反対派の市民団体の調査結果を内部告発した。汚染土壌除去後に新市場平土造成に計画はれてきた土壌の一部が、有害物質の含有率を超過し、安全に埋められたとされた。また、埋め置かれた汚染土壌の一部は東京湾に埋められていることが分かった。新市場を造る土壌問題には、市民ともいえる状況が次々と浮き上がってきているのだ。

豊洲市場移転断固反対派の市民団体「豊洲市場移転断固反対会」が、東京都が豊洲市場移転断固反対派の市民団体の調査結果を内部告発したとされた。汚染土壌除去後に新市場平土造成に計画はれてきた土壌の一部が、有害物質の含有率を超過し、安全に埋められたとされた。また、埋め置かれた汚染土壌の一部は東京湾に埋められていることが分かった。新市場を造る土壌問題には、市民ともいえる状況が次々と浮き上がってきているのだ。

とある。一方で、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、

「調査結果が公表された後、



かつてはここを民家から排水口を築造していた。(1965年)

再処理センターとは、都の汚濁削減が課題する「建設衛生土再処理センター」のこと。都内の公営工事等で発生した残土（建設発生土）を他の工事で有効利用するための中間施設だ。

建設現場では、汚土は、当時の利用範囲では、持ち込まれる建設発生土1件当たりの半分程度までしか持ち込まれれば調査を受けなくてもよかったので、ほとんどは調査を受けずにいたという。「盛り土用です。先般来たから当然、有害物質が入っ

ている可能性もある」

盛り土とは、東京ガスによる汚染土壌の人の移入が終わった後、その上にさらさらになる「緑土」をかぶせること。都の民間企業も業者として行われた。

建設した建設現場者によれば、最終的に再処理センターから搬出された建設発生土は、計10万立方メートルという。この期間中だけではない。同センターによれば、「昨年度は搬出された建設発生土の約4割は再検査でした。1件当たり1000立方メートル程度の検査は不要で、その分です」という。

検査基準は厳しくなったが、それでも1000立方メートル未満なる危険なものだ。

「1000立方メートル程度はあるとは思えません。本来は全部検査したはずが、いりでも、検査は一律的にお互い万門が必要で、費用も1ヶ月くらいかかるから、仕方がない」(民間関係関係者) そこで、盛り土を担当す

る都民関係者にも確認を取ると、見解は食い違っていない。

「再処理センターからは入っていないと理解していません。都内の土に汚染工事の現場から直接搬出の予定地に搬入しており、それは2000立方メートルに相当しています」(民間関係)

ただ、それは昨年二ある段階であり、それ以前については「把握していない」と言っている。

汚染土を東京湾に埋めていた

一方で強くなるのは、東京ガスが処理した汚染土質の行方である。東京都市場の予定地と別のうち二箇区分は既に土壌処理が終わり、盛り土もほぼ終わっている。で、汚染された土質は、実際にどのようになっているのか。その答えは、都民関係者によれば、民間関係者によれば、東京ガスから次のような報告を受けているという。

「この点について、正確な数字はわかりませんが、埋められているの、明らかにしてもらわなければならない」と

述べた日本環境学会会長は、都民関係者(大田大学)に聞いた。この報告は、

「民間、費用を削減した時点で、汚染土質の埋め込みは行われていた。こういう材料工事の廃止の物には、必ず汚染が見つかるもので、すかすか」

埋められた後、最終処分場に持ち込まれる。

取り除いた汚染土の部分は、ほかから持ち込んだ緑土。または敷地内で処理した土で埋め直す。

「民間関係者によれば、汚染土の埋め直しは、その分は埋め立てで処理になったという。これは数字的な処理をせず、そのままだと埋め立てというところ。埋め立ては建設現場に引き出した「中水処理」と呼ばれる処理方法の一環である。

埋め立てで埋め立て処分をしても大丈夫としたら、何の解決にもならない。危険はないのだろうか。民間関係者によれば、埋め立ては、埋め立ての規制の除外のため、都としての規制はできないという。

「埋め立て処分場には別の受け入れ基準があります。どのような処理をどうしているのかは、民間会社に聞いてください」(民間関係者)

中水処理の埋め立て処分管理しているのは都の外



前橋の橋下空間にはダムから出て来た水が溢れかえっている。

「東水産電機(株)」

である。同会社の定めた有
償買戻の受け入れ基準は、
国の定めた環境基準の約
倍、つまり、通常の処理よ
り、有害物質が10倍多くて
も許されるということだ。

会社によれば、豊洲の汚
染土壌は昨年夏月から今年
夏前にかけて、約1000日
を平均して受け入れ、(豊洲面
積の立て壊)の処分場に埋
めたいという。

「豊洲にコンクリート砕片作
つて土を入れておけ、有害
物質が漏れ出せばおれはな
どと担当者は話す。前橋の
環境局長はこう話す。

「汚染土壌を埋め込んで
埋めておけるのは問題があ

ります。コンクリートの割
れがあっても、海に流せば
なので安全に排水できます
よ。干満もあるし水圧も変
わります。じかに汚染土層
が海水に接触する可能性が
高いのです。受け入れ基準
の10分の1も含まれている
なかったとしても、埋め込
めば環境基準に達しません」

「強アルカリ水問題」は国会へ

さらに建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。

「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

不安はこれだけではない。
環境問題専門のシムスタ
ンク「環境総合研究所」調
査部長で、豊洲問題に詳しい
「建設法次官も認める」
「内閣と海に、海に漏れて
いないか確認することする
願う」。汚染水域の東京湾
は汚染物質がたまります。
どんな検査が出来るかわか
りません。

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「強アルカリ水問題」は国会へ

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「強アルカリ水問題」は国会へ

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「強アルカリ水問題」は国会へ

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

「建設法は、検査自
体の信頼性にも疑問を投げ
かけている。
「まず、サンプルが本当に
全体を代表しているのかと
いう問題がある。さらに方
位がずれます。国際的に
ほとんど検査機器を輸出
させる検査機を認定してし
ない検査の機器を使うのが
定規なので、日本の基準で
定められた方法では、ほぼ
中性の水を抽出、実際には
汚染土なのに、問題なしと
判定されているケースがあ
る。少なくとも認定します」

●汚染土の処理・「強アルカリ水問題」は国会へ